

| | | | | | | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|-----|------|--------------------|----------|------------|----|
| 授業科目 | 事例研究（旅行業） Case Study (Travel Industry) | | | 担当教員 | 大井田 かおり | | |
| 展開方法 | 演習 | 単位数 | 2 単位 | 開講年次・時期 | 1・2 年／前期 | 必修・選択 | 選択 |
| 授業のねらい | | | | | | | |
| <p>旅行業に関する具体的な事例研究として、着地型観光や DMO への期待が高まっていることを受け、旅行業を取得した組織、主に各地の DMO に認定された観光協会の取組みについて考察する。旅行業の種別についてのここ数年の動きを理解しながら、各事例で考察する観光協会等が、どのような目的で旅行業を取得し、どのような組織で運営をしているかについて、各自が調査を行い、既存の旅行会社とも比較検討し、これらの検討事項により旅行業について幅広く理解を深める。</p> | | | | | | | |
| 観 点 | 学 生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標 | | | 評 価 手 段 ・ 方 法 | | 評 価 比 率 | |
| 関心・意欲 ・態度 | 最近の旅行業の動向について考え、ニーズを先読みすることができる。個人の考えをビジュアル的に表現できる。 | | | ・ 討 論 ・ 動 画 作 成 | | 20% 10% | |
| 思考・判断 | 刻々姿を変える旅行業の新しい動きに対応できる。 | | | ・ 研 究 発 表 ・ 討 論 | | 30% 10% | |
| 技能・表現 | 自身の考えを説得力を持った形で他人に提示できる。 | | | ・ 討 論 ・ 動 画 作 成 | | 10% 10% | |
| 知識・理解 | 旅行業において集客のための戦略を立てることができる。 | | | ・ 動 画 作 成 | | 10% | |
| 出 席 | | | | | | 受 験 要 件 | |
| 合 計 | | | | | | 100% | |
| 評価基準および評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| <p>ディスカッションへの参加(40%)、研究発表（プレゼンテーション）(30%)、作成動画(30%)、から総合的に評価する。</p> | | | | | | | |
| 授 業 の 概 要 | | | | | | | |
| <p>この事例研究では、最近の観光業に関する動向について考察する。それぞれのトピックに関する事例を1つ以上挙げ、問題点、今後の可能性について、プレゼンテーションを行う。終了後、それぞれについて討論を行う。何回かはテーマを持ったツアーを企画し、そのツアーを紹介する動画を作成する。</p> | | | | | | | |
| 教 科 書 ・ 参 考 書 | | | | | | | |
| <p>適宜、関連論文・資料、参考文献の紹介や配布をおこなう。</p> | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| <p>この事例研究は、「旅行業論特講」とあわせて受講することが望ましい。現在発表はプレゼンテーションという形を取ることが多い。しかし、YouTube が人気を集めている現在、個人の意見を動画の形で配信できなければ、今後の社会変化に対応できなくなると考えられる。旅行業は現在次第に形を変えつつある。よって、発表する際は、旅行業の現状だけでなく、未来に起こるであろう旅行業形態の変化を見据えたうえで意見を言うことが望ましい。普段から観光パンフレットや観光関連のプレスリリースを目にすることによって、ビジュアル面での宣伝戦略を検討するようしておく。</p> | | | | | | | |

| 回 | テーマ | 授業の内容 | 予習・復習 |
|----|-------------------|------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 1 | ガイダンス | 授業の進め方について。 旅行業法に規定される旅行業および旅行業者代理業について | 観光庁の「政策について」の旅行業法についての項目を読んでおく |
| 2 | 発地型観光と着地型観光 | 近年増加している着地型観光の事例について考察する。 | 着地型観光の例を一つ取り上げ、論じる準備をしておく。 |
| 3 | 旅行業のIT化 | 近年インターネット専業の旅行会社が増加している。旅行業のIT化について考察する。 | 旅行業IT化の利点と注意点について論じる準備をしておく。 |
| 4 | ビッグデータ | 現在観光業においても、ビッグデータの活用が盛んに行われている。ビッグデータの新しい活用法について考える。 | ビッグデータを観光活用している会社を挙げ、現在まで存在しない活用法がないか検討する。 |
| 5 | アウトバウンドツアーの企画1 | テーマを持ったアウトバウンドツアーを企画する。 | アウトバウンドツアーのテーマを選び、プレゼンの準備をする。 |
| 6 | アウトバウンドツアーの企画2 | テーマを持ったアウトバウンドツアーの宣伝戦略を発表する。 | 宣伝戦略について考察しておく。 |
| 7 | インバウンドツアーの企画1 | テーマを持ったインバウンドツアーを企画する。 | インバウンドツアーのテーマを選び、プレゼンの準備をする。 |
| 8 | インバウンドツアーの企画2 | テーマを持ったインバウンドツアーの宣伝戦略を発表する。 | 外国人観光客に対する宣伝戦略について考察しておく。 |
| 9 | インバウンドツアーの企画3 | インバウンドツアーで設定した観光コースを紹介する動画を作成する。動画内容について発表する。 | 動画の全体的な流れについて検討しておく。 |
| 10 | インバウンドツアーの企画4 | 動画のシナリオについて発表する。それについて討論する。 | 動画のシナリオを作成する。 |
| 11 | 旅行業における危機管理について | 旅行業のリスクマネジメントについて事例をあげて発表する。 | リスクマネジメントに関する発表の準備をしておく。 |
| 12 | SNSの観光における利用戦略 | 将来はフォーマルな連絡もSNSを使って行われると考えられる。SNSを使用した観光戦略を立てる。 | 旅行業におけるSNSの可能性について検討し、戦略を考えておく。 |
| 13 | 10年後の旅行業予測 | 10年後の旅行業のあり方について予測し、プレゼンテーションを行う。 | 10年後の旅行業予測の発表の準備をしておく。 |
| 14 | IRについて | IRについてディベートを行う。ディベートの課題と役割については、一つ前の回で発表する。 | ディベートの準備をしておく。 |
| 15 | インバウンドツアーの企画5とまとめ | 動画を公開し、内容について討論する。 | 動画の提出 |